社会学Ⅱ　　中村牧子

授業概要

社会はさまざまな社会関係が絡み合う複雑な塊である。この社会学Ⅱでは、社会学Ⅰで学んだような個々の社会関係が、相互にどう影響しあって全体社会を構成しているかについて考える。家族、職場、学校、地域などと関わりながら生きる現代人が、そのそれぞれの要求に応えようといかに奮闘しているのか、またそうした要求に応えることが、近年、いかに困難となりつつあるかについて、具体的な事例を見ながら考え、現代の日本社会とその中に生きる私たち一人ひとりの可能性について考察する。なお、この授業は社会学の応用編と位置付けられるが、社会学Ⅰを受講していなくても十分理解できる内容である。

授業計画

第１回	職業を通じて全体社会を考える
第２回	日本的組織の特徴とその変化
第３回	男性の職業生活とその問題点――働きすぎ
第４回	女性の職業生活とその問題点――家庭内労働と就業の両立困難
第５回	女性就労の支援策と国際比較
第６回	フリーターの職業生活とその問題点――不安定就労
第７回	労働問題への現代日本の取り組み
第８回	役割演技と自己形成のしくみ
第９回	「男性・女性としての私」の形成
第10回	多元的価値を育む社会
第11回	ラベリングとネガティブな役割の引き受け
第12回	「非行少年としての私」の形成
第13回	「障害者としての私」の形成
第14回	バリアフリー社会への転回
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

現代日本社会の諸現象・諸問題について、基本的な知識を持ち、それについて自分なりに整理し、意見を述べられるだけの考察力を身につけること。

履修上の注意

この授業はテキストを用いないので、毎回の授業がすべてです。積極的に出席し、意見を書き、学んだことをもとに社会現象について考えていこうとする、意欲的な学生の出席を期待します。参考文献を活用し、自分で知識を拡げていくような学習態度で臨んでください。

予習復習

参考文献リストを利用した自主的学習のほかに、授業で扱ったテーマについての社会観察の課題を出す。その結果は、授業内の小レポートで報告してもらうことがある。

評価方法

学期末試験 100%。

テキスト

とくに定めない。授業では主にプリントを使用する。